

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成30年3月4日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

苦悩の私のために いのちの葉

如来の作願をたづぬれば 苦悩の有情をすてずして

回向を首としたまひて 大悲心をば成就せり

「人間」という苦悩

私はかつて、宗門校の女子大学で「仏教学」という全学生必修の科目を担当していました。その際に、それまで仏教や浄土真宗の教えには全くの無縁であった20歳前後の女性たちから学んだ事は限りなく多い。それは、仏教の知識をもたないからこそ、彼女たちが初めて触れる教えのどこに共感し、感動するかが手に取るようにわかるということである。

この和讃は、個人的な苦悩を超えた、人間という存在そのものに必須の苦悩が問題にされている。そんなことが20歳前後の女性にわかるのだろうか、という声も聞こえてきそうだが、言葉を尽くして説けば、わかってくれる。

苦悩と言えば、目の前の現実的な、しかも「自分だけの」苦しみを想定してしまうが、そうではなく、人間であることそのものが「苦」であるというようなことは、仏教にふれなければ気づかないのではないかな。

母と幼子のように

今回も親鸞聖人が86歳の時につくられた「正像末和讃」の一首である。聖人の時代の86歳であるから、大変な高齢であることは言うまでもないが、その年齢にして、この和讃集を遺されているという事実には、驚嘆せずにはおれない。

この和讃は言うまでもなく、阿弥陀さまがなぜ、私どもを救いたいという願いを起こさなければならなかったか、ということについての問いと答えがうたわれたものである。それは私どもが「苦悩」の存在だからであり、そういう私ども凡夫を救う唯一の手だてとして「南阿弥陀仏」が成就されたということであろう。

言ってみれば、南無阿弥陀仏の名号は、私を救おうとする阿弥陀さまの一方的な救いはたらきのすがたにほかならない。それはちょうど母親が「ほら、マンマよ、マンマよ」と幼児語を口にして、わが子に食べさせているのと重なる。その時、母親はみずから、わが子の気持ちと同化してしまっているのである。

阿弥陀さまの本願など眼中になかった女子大生に、右のような譬えをもって説明したら、親鸞聖人の教えの根底がどこにあったかを理解してもらうことができた。その姿に私も学んだが、これは得難い経験であった。



2017. 11月より 2018. 2月まで

正善寺トピックス

2017.12 正善寺報恩講法要

向拝(本堂入り口の名称)の「のぼり」
本堂の荘厳(飾り付け) お齋の様子



2017.12.15 忘年会 恒例になりました。観山荘本館

2017.12 位牌会



2017 除夜会
2018 元旦会



今年は何が待ってるか
おたのしみ！

除夜の鐘 記念番号札 おせちと飲み物ご接待 子どものお土産はこちら

2018.2 正善寺仏教婦人会例会・絵手紙チャレンジ



ご 案 内

とき 平成 30 年 3 月 15 日 より 16 日まで

春 季 彼 岸 法 要

	15日(木)	16日(金)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

講 師 (築上郡築上町 専 廣 寺)

本願寺派布教使 加 来 諭 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

3月12日(月)法要準備会

10:0より15:00まで

彼岸法要の準備、本堂のおかざり、納骨堂の清掃等を行います。

昼食用意しています。たくさんのご参加をお願いします。

こどものうた
仏ぞう
大友詩織
はくぶつかん
で仏ぞうをた
くさん見た
おかがやさ
しくて 手は
OKサインを
していたよ
みんなたすけ
てあげるよ
まかせとけの
サインかな

「小倉親鸞のつどい」ご案内

むかしジョビジョバ。 いま坊さん!

講 師 熊本市 勝明寺 木 下 明 水 師

日 時 30年3月9日(金) 14時開演 16時閉演
会 場 小倉北区大手町 女性センター「ムーブ」大ホール
入場券 500円 お寺にあります。当日券あります。
参加制限ありません。どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。



行事ご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

4月8日は「お釈迦様の誕生日」みんなで祝いましょう

花まつり・甘茶接待

【日 時】 4月9日(月)午前11時より午後16時まで【会 場】 正善寺・神岳保育園玄関前

小倉仏教会主催 花まつり・甘茶接待

【日 時】 4月8日(日)午後2時より午後16時まで【会 場】 且過丸和前にて開催

初参式 (しょさんしき) 正善寺本堂にて

【と き】 6月3日(日) 午前11時開始

小さいお子様が、お寺の仏様の前で初めてのお参りをする儀式です。最近生まれたお子様はぜひ参加しましょう。家族でおいで下さい。お待ちしております。

次回の法要のご案内 永代経法要

【と き】 6月2日(土) 昼席・6月3日(日) 昼席 (昼席2日間)

【講師】 当山 正善寺 住職 酒井光義

準備会予定 5月28日(月)10:00~15:00

編集後記

今年は寒い日が長く続いたので、三月に入り弥生のあたたかい日差しをととてもありがたく感じます。皆様、お元気で過ごしてでしょうか。お寺の保育園は卒園式に向かい、子どもたちとお別れの行事をひとつひとつ終えています。

まだ生まれて六歳の子どもたちから今年度もたくさんのお話を教えてもらいました。一日の保育園を終える時、先生方と「今日はこんなことがあって、クスツと笑ったね。」「あの時のあの子の目の輝きすごかったね。」「あんな風に思える心がきれいだね。」等々「子どもたちって本当にすごいね。」と「そうだね、そうだね」と話す時間が気が付くと一番幸せな時間となっています。教えているつもりが教えられることばかり、導いているつもりが導かれることばかりだったと、この三月は子どもたちへの感謝の想いがあふれます。仏さまにみんな見護られて暖かい時間をいただいていたんだと、あらためて感謝に涙が溢れます。

邂逅 (かいこう) いろいろな人に出会い いろいろな事に出会い

— 一遇えてよかったね — わたしがわたしになっていく あなたがあなたになっていく
わたしはわたしでよかった といえる人生が 送れたらいいね
卒業おめでとう そして ありがとう

出遇いに感謝して、送り出す子どもたちへこの詩を贈りたいと思います。「嬉しい出遇いも嫌な出遇いも、私を私に育ててくれる大切な人生だと、私は私でよかった」といえる人生を送ってほしいと思います。仏様がそう教えて下さっています。お寺では、大切なお彼岸を迎えます。春のお花の中で、仏さまのお話を聞きにおいでください。心よりお待ちいたしております。 合掌